



いよいよ来週月曜日は終業式です。1号認定子どもは夏休みに入ります。今年の梅雨は、お隣の熊本県や大分県などでは豪雨で川が氾濫し、多くの方が亡くなり、家屋の被害も出ました。幸い、宮崎ではこのような被害は出ませんでした。ぐずついた日が続いています。子どもたちが楽しみにしているプールでの水遊びも最近はできていません。また、鼻水が出る子ども、体調を崩して休む子どもも増えてきました。

夏休みはみんな元気で過ごしてほしいです。1号認定の子どもたちは、8月31日(月)に夏季保育がありますが、それまでは家庭で楽しく過ごしてほしいと思います。

○ 年中・年長の子どもたちを対象に「交通安全教室」を行いました。

10日(金)の午前、宮崎南地区交通安全協会から4名の指導員に来ていただいて、ホールで年中・年長の子どもたちを対象に「交通安全教室」を行いました。指導員の方たちから、信号機の見方や道路標識、安全に生活するために大切なことなどを教えていただきました。途中、手遊びをして楽しんだ後、横断歩道の渡り方について学び、年長の子どもたちが実際に横断歩道を渡る練習をしました。子どもたちは最後までよく話を聞いていました。これからも交通ルールを守って、安全に生活してほしいと思います。



○ ふれあいコンサートを開催しました。

13日(月)の午前10時20分から、年少以上の子どもたちを対象に、ふれあいコンサートを2階ホールで開催しました。新型コロナウイルスの影響で6月に実施できず、ほぼ半月遅れで実施しました。保護者の皆さんも10名ほど聴きにきてくださいました。

本園で音楽教室の指導をしていただいている榎園幸子先生と本田奈留美先生のお二人に来ていただき、ピアノ演奏を聴かせていただきました。初めに、お二人の連弾で3曲を披露していただきました。子どもたちは手拍子をして楽しく聴いていましたが、次に子どもたちがよく知っているアニメの「鬼滅の刃」の「紅蓮華」が披露されると大きな声で歌い始めました。今回は新型コロナウイルス対応もあり、大きな声は出さずに、手拍子したり、心の中で歌ったりしましょう、と子どもたちには最初に話をしていたのですが無理でした。その後に演奏していただいた「パプリカ」も同様でした。

それでも、子どもたちが楽しく演奏を聴くことができ、よかったですと思いました。少しずつ、コンサートでのエチケットも覚えてくれることでしょうか。私たちも少しずつ伝えていきます。最後に、年長の代表の子どもがお礼を言って、2名がそれぞれ花束を渡しました。お二人の先生方、楽しい演奏をありがとうございました。



○ 地震を想定した避難訓練を行いました。

14日(火)の午前、地震を想定した避難訓練を行いました。子どもたちは避難の放送を聞いてから、およそ3分で避難場所のピロティ（なかよし広場）に集合しました。私から地震の際の避難の仕方や、もし津波が発生した場合の避難の仕方などについて話をしました。

その後、担当職員が「押さない、走らない、しゃべらない、戻らない、よく聞く、泣かない」について話をしました。子どもたちは静かに話を聞くことができていました。

多くの幼稚園や学校などでは「お・は・し・も・よ」を合言葉にして避難訓練を行う所が多いのですが、私はこれに「な(泣かない)」を加えています。前任のこども園に赴任して初めて避難訓練を経験した

時、幼い子どもたちが怖がって泣いていました。全員が集まって担当職員が話を始めても、あちこちで大きな泣き声が出て、子どもたちも落ち着かず、ざわつきました。その時、もし本当に地震や火事が発生した時、このような状況になったら危ない、と感じて、この時から「な」を加えています。

幼い子どもたちですから、非常ベルの音に驚いたり、怖かったりして泣きたくなるのはよく分かります。訓練だからこそ「泣かないで静かに保育者の話を聞くことが大切だ」ということを繰り返し伝え、子どもたちにも避難の雰囲気慣れさせる必要があると考えています。前任の園では、訓練を繰り返すことで、幼い子どもたちも泣かなくなりました。もちろん、これは日常の教育・保育をする中で、子どもたちの保育者への信頼感が育まれ、安心感が保たれるようになったからだと思います。

いざという時、子どもたちの命を守ることができるよう、これからも日頃から子ども達と保育者との信頼関係を強固なものにすることができるよう教育・保育に努めたいと思います。

○ 年少以上の子どもたちがボディペインティングをして遊びました。

15日(水)の午前、年少以上の子どもたちが園庭でボディペインティングをして楽しみました。汚れてもよい服や水着を着て、園庭に置かれたバケツに入ったいろいろな色の絵の具を手付けて、友達の身体や服に塗りあって遊びました。私はちょうど出張で見ることができませんでしたが、職員が写真を撮っておくれました。その写真から、先生や友達と楽しく遊んでいる姿を見ることができました。曇り空でしたが、幸い雨は降らず、予定通りにできて、子どもたちも喜んでいました。



○ 新型コロナウイルス感染症の患者がまた出ました。

今月5日(日)に感染が確認された男性の家族(妻と小学生の娘)の感染が12日(日)に確認されました。県内の感染者は20名になりました。二人は男性の感染が確認されてから外出自粛をしており、娘も3日(金)の登校を最後に休んでいました。おかげで、二人の濃厚接触はおらず、娘が通学していた小学校も休校措置はとらないとのこと。感染を必要最小限に抑えることができたことはよかったと思います。

一方、私は最近の傾向として、東京などにおける夜の街感染よりも、家庭内感染、若い人の感染や無症状感染者が増えていることが気になります。このような状況で、来週から「Go To トラベルキャンペーン」が実施される予定ですが、感染が一気に全国に拡大するのではないかと、私は不安です。政府は、医療体制に問題はないと言っていますが、医療従事者の立場を考えると、感染者は増えないほうがよい、もっと言えば感染者が出ないほうがよいはず。医療従事者が対応するのはコロナ感染者だけではなく、普段から多くの様々な病気の患者に対応しているのです。

これから多くの若い人たちが国内各地を行き来して感染し、しかも無症状だったら、私たちは防ぎようがありません。家庭内感染を引き起こし、高齢者が感染し、重症者がどっと増えるでしょう。そのような事態にならないよう、私たちは自分で考え、判断し、適切に行動しなければなりません。

毎日の検温やマスク着用、3密は避けるなど、できることをしっかりとやっていきたいものです。